

第 7 節 美術・文学館課

〔総括概要〕

美術・文学館課の主な分掌事務は、栃木市立美術館及び栃木市立文学館の管理運営及び展示、美術作品・文学作品等の調査・研究等、教育普及活動などである。

栃木市立美術館は、企画展（「アルフォンス・ミュシャ 魂と装飾の芸術」「夏にたのしむ器 竹のかたち×陶のいろ」「北斎展 一師と弟子たち」「没後80年 清水登之」）、及び、収蔵品展Ⅰ～Ⅳを開催した。そのほか、展覧会に関連した講演会、ギャラリートーク、ワークショップや、親子での来館者を対象としたこどもの日のイベント「ミュージアムであそぼう！」等や、市内の飲食店と連携したスタンプラリー等を実施し、美術館を楽しむ機会を提供した。なお、年間を通じて、市内小中学校の教員を対象に、美術館並びに文学館への理解を深め、児童生徒の校外学習での活用を促進するため、「先生のための見学会」を開催した。

栃木市立文学館は、2回の企画展（「没後 50 年 山本有三宛書簡から見る交友」「東海道を旅したとちぎの人々」）を開催した。また、年間を通じて栃木出身の作家である山本有三、吉屋信子、詩人の柴田トヨの各氏を中心に、市ゆかりの文学に関する常設展示（随時展示替えあり）を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

総務係

1 栃木市立美術館・文学館等の入館者数

(1) 栃木市立美術館

ア 展覧会別入館状況

(ア) 企画展

展覧会名	開館日数(日)	観覧者数(人)	大人			中学生以下
			有料	無料	計	
アルフォンス・ミュシャ 魂と装飾の芸術 4月3日～6月9日	59	12,429	7,832	3,738	11,570	859
夏にたのしむ器 竹のかたち×陶のいろ 7月13日～9月23日	62	2,070	1,287	600	1,887	183
北斎展 一師と弟子たち 10月5日～12月8日	56	10,269	7,222	2,204	9,426	843

没後 80 年 清水登之 1 月 11 日～3 月 20 日	58	2,847	1,879	773	2,652	195
合計	235	27,615	18,220	7,315	25,535	2,080

(イ) 収蔵品展

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数 (人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	
収蔵品展Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	235	27,728	18,331	7,317	25,648	2,080
うち収蔵品展のみ観覧	235	113	111	2	113	0

(ウ) 無料展示

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数 (人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	
喜多川歌麿の高精細複製画 「深川の雪」「品川の月」「吉 原の花」無料展示	6	255	—	237	237	18

イ 月別観覧者内訳

月	開館日数 (日)	観覧者総数 (人)	大人(人)			中学生以下 (人)
			有料	無料	計	
4	24	2,974	2,318	465	2,783	191
5	27	5,199	4,085	738	4,823	376
6	8	4,272	1,443	2,537	3,980	292
7	16	508	310	127	437	71
8	26	804	497	237	734	70
9	20	785	507	236	743	42
10	23	3,117	2,374	449	2,823	294
11	26	5,186	3,265	1,511	4,776	410
12	13	2,274	1,636	481	2,117	157
1	18	876	535	316	851	25
2	23	1,008	734	234	968	40
3	17	980	627	223	850	130
合計	241	27,983	18,331	7,554	25,885	2,098

(2) 栃木市立文学館

ア 展覧会別入館状況

(イ) 企画展

展覧会名	開館日	観覧者	大人	中学生
------	-----	-----	----	-----

	数(日)	数(人)	有料	無料	計	以下
没後 50 年 山本有三宛書簡から見る交友 4 月 27 日～9 月 29 日	134	3,762	2,092	1,312	3,404	358
東海道を旅したとちぎの人々 10 月 12 日～3 月 23 日	139	4,725	3,267	1,041	4,308	417
合計	273	8,487	5,359	2,353	7,712	775

(イ) 常設展

展覧会名	開館日 数(日)	観覧者 数(人)	大人			中学生 以下
			有料	無料	計	
常設展	305	8,924	5,615	2,468	8,083	841
うち常設展のみ観覧	305	437	256	115	371	66

イ 月別観覧者内訳

月	開館日数 (日)	観覧者総数 (人)	大人(人)			中学生以下 (人)
			有料	無料	計	
4	25	1,862	254	1,483	1,737	125
5	27	3,359	912	2,103	3,015	344
6	26	2,318	321	1,799	2,120	198
7	26	587	163	392	555	32
8	27	868	231	579	810	58
9	25	1,017	366	587	953	64
10	27	1,991	652	1,147	1,799	192
11	26	3,627	1,086	2,231	3,317	310
12	24	1,386	546	751	1,297	89
1	24	898	259	595	854	44
2	23	1,134	450	647	1,097	37
3	25	1,145	375	612	987	158
合計	305	20,192	5,615	12,926	18,541	1,651

2 栃木市立美術館・文学館運営協議会

美術館・文学館の運営を円滑に行うための運営協議会を開催した。

- ・委員数 10名(うち公募委員2名)
- ・任期 令和5年7月1日から2年間

開催日	内容
-----	----

7月30日（火）	・令和6年度事業の状況について ・令和7年度事業計画（案）について
2月18日（火）	・令和6年度事業の状況について ・令和7年度事業計画（案）について

3 栃木市立美術館・文学館サポーター（運営ボランティア）

運営ボランティアとして、栃木市立美術館・文学館サポーターに受付補助、イベント補助等の活動に参加いただいた。

・登録人数 52人

活 動 内 容	活 動 人 数
美術館受付補助業務	延べ272人（4月3日～3月20日）
イベント・講演会等補助業務	延べ91人
チラシ等発送業務	延べ56人
ギャラリートーク補助業務	延べ34人
サポーターによるギャラリートーク	延べ8人

4 栃木市立美術館・文学館賛助制度（企業等サポーター）

財源を確保するとともに、官民連携による美術館・文学館の活性化を図るため、美術館・文学館の事業の趣旨に賛同し、賛助する企業・団体等を募集した。

・企業等サポーター（※1口50,000円）

株式会社呉光製作所（1口）、滝沢ハム株式会社（6口）、トヨタホーム株式会社栃木事業所（1口）、栃木信用金庫（2口）、株式会社ホンダカーズ栃木中央（2口）、ケーブルテレビ株式会社（1口）、とちぎ行政書士法人（1口）

5 とちぎMuséeフェスの開催

市内外に美術館及び文学館の魅力をPRし、新たなファンの獲得と、まちなかの賑わいの創出を図るため、「とちぎMuséeフェス2024」を開催した。

・開催日 11月10日（日）

・会場 栃木市立美術館・文学館ひろば
きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

・内容 クラリネット・ピアノ・打楽器コンサート、保育園児による太鼓演奏、チェロコンサート、書道パフォーマンス、フラダンス、講演会「山本有三とゲーテ” たったひとり ”の根源」、アートに飛び込む！浮世絵ヨガ～北斎篇～

学芸係

1 栃木市立美術館・文学館展示関係

(1) 栃木市立美術館

企画展「アルフォンス・ミュシャ 魂と装飾の芸術」をはじめ、4 回の企画展及び 4 回の収蔵品展を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、美術館を楽しむ機会を提供した。また、市内小中学校の教員向けに「先生のための見学会」を開催した。

ア 開館期間 4 月 3 日（水）～3 月 20 日（木・祝）

イ 講演会等

(ア) 学芸員によるミニ講座「アール・ヌーヴォーとジャポニスム」

- ・実施日 5 月 6 日（月・祝）
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）講義室
- ・講師 美術館学芸員
- ・聴講者数 34 名

(イ) スペシャルトーク「ミュシャの故郷を知ろう！」

- ・実施日 6 月 1 日（土）
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
- ・講師 小暮悠氏（マサリク大学大学院哲学部博物館学修士課程、モラヴィア美術館勤務）
- ・聴講者数 38 名

(ウ) 東の琅玕齋×西の竹雲斎

- ・実施日 8 月 31 日（土）
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
- ・講師 鈴木さとみ氏（栃木県立美術館主任研究員）、島崎慶子氏（菊池寛実記念 智美術館主任学芸員）
- ・聴講者数 37 名

(エ) 美術館×文学館 学芸員によるミニトーク 北斎「東海道五十三次」を読み解く！

- ・実施日 11 月 30 日（土）
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
- ・講師 栃木市立美術館学芸員、栃木市立文学館学芸員
- ・聴講者数 61 名

(オ) 連続講座「清水登之 その生涯と画業」

- ・実施日 第 1 回 1 月 26 日（日） 「栃木から単身アメリカへ」
第 2 回 2 月 2 日（日） 「苦悩と歓喜のニューヨーク」
第 3 回 2 月 16 日（日） 「パリの日々」
第 4 回 2 月 23 日（日・祝） 「昭和日本への帰国」
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）講義室
- ・講師 杉村浩哉（栃木市立美術館館長）

- ・聴講者数 累計 136 名

ウ イベント等

(ア) 所蔵者によるギャラリートーク

- ・実施日 4月13日(土)、5月19日(日)、5月25日(土)、6月2日(日)
- ・会場 栃木市立美術館
- ・参加者数 累計 234 名

(イ) ワークショップ「リトグラフ体験」

- ・実施日 4月28日(土)
- ・会場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館(市民交流センター)講義室
- ・講師 齋藤 千明氏(鹿沼市立川上澄生美術館長)
- ・参加者数 13 名

(ウ) 学芸員によるギャラリートーク

- ・実施日 5月5日(日・祝)、5月25日(土)、8月25日(日)、9月21日(土)、10月12日(土)、10月20日(日)、11月24日(日)、1月11日(土)
- ・会場 栃木市立美術館
- ・参加者数 累計 168 名

(エ) こどもの日青空演奏会

- ・実施日 5月5日(日・祝)
- ・会場 栃木市立美術館・文学館ひろば
- ・講師 柏崎直之氏(エレクトーン奏者)
- ・参加者数 30 名

(オ) ワークショップ「トートバッグデザイン!」

- ・実施日 5月5日(日・祝)、6月1日(土)
- ・会場 栃木市立文学館 とちぎサロン
- ・参加者数 累計 25 名

(カ) 公開!摺り師による浮世絵版画製作

- ・実施日 6月16日(日)
- ・会場 栃木市立文学館 とちぎサロン
- ・講師 高橋工房
- ・参加者数 16 名

(キ) ワークショップ「耳からたのしむ夏〜風鈴に描く〜」

- ・実施日 6月28日(金)、7月13日(土)
- ・会場 くのまち保育園、栃木市立美術館
- ・参加者数 累計 55 名

(ク) 学芸員とトークで観察(対話型鑑賞)

- ・実施日 7月21日(日)、11月17日(日)、1月19日(日)
- ・会場 栃木市立美術館
- ・参加者数 累計 6 名

(ケ) ワークショップ「小さな工芸・水滴を楽しむ」

- ・実 施 日 8月4日（日）
 - ・会 場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
 - ・参加者数 13名
- (コ) ワークショップ「和紙にしたしむ・墨流し/紙継ぎ/砂子蒔き」
- ・実 施 日 8月18日（日）
 - ・会 場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
 - ・講 師 名取初穂氏（國學院大學栃木短期大学教授）
 - ・参加者数 15名
- (カ) お茶席（椅子席）
- ・実 施 日 9月15日（日）
 - ・会 場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
 - ・参加者数 115名
- (シ) ワークショップ「オリジナル缶バッジづくり」
- ・実 施 日 9月21日（土）
 - ・会 場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
 - ・参加者数 28名
- (ス) 大人が楽しむワークショップ「摺り体験！」
- ・実 施 日 10月14日（月・祝）、11月24日（日）
 - ・会 場 栃木市立文学館 とちぎサロン
 - ・参加者数 累計10名
- (セ) 親子で楽しむワークショップ「摺り体験！」
- ・実 施 日 10月20日（日）、11月17日（日）
 - ・会 場 栃木市立文学館 とちぎサロン
 - ・参加者数 累計20名
- (ソ) 美術館・文学館サポーターによる雪月花ギャラリートーク
- ・実 施 日 12月14日（土）
 - ・会 場 栃木市立美術館
 - ・参加者数 累計29名
- (タ) 見て・聞いて・話して 鑑賞会
- ・実 施 日 1月29日（水）
 - ・会 場 栃木市立美術館
 - ・参加者数 6名
- (チ) ワークショップ「油絵を描いてみよう」
- ・実 施 日 2月9日（日）
 - ・会 場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
 - ・講 師 林美希氏（栃木県立小山城南高等学校）
 - ・参加者数 12名
- (ツ) ワークショップ「麻紙漉き」
- ・実 施 日 3月2日（日）
 - ・会 場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）

- ・講師 野州麻紙工房

- ・参加者数 15 名

(7) トーク「栃木の麻」

- ・実施日 3月2日(日)

- ・会場 栃木市立美術館

- ・講師 大森芳紀氏(麻農家8代目)

- ・参加者数 17 名

エ 教員見学会

先生方のための展覧会見学ツアー

- ・実施日 7月26日(金)、7月30日(火)、8月1日(木)、8月7日(水)

- ・会場 栃木市立美術館・文学館

- ・参加者数 累計 52 名

オ 市内小中学校等への出前授業

- ・実施日 10月19日(土)、12月5日(木)、12月20日(金)、1月23日(木)、2月7日(金)、2月19日(水)

- ・会場 栃木第三小学校、合戦場小学校、国府北小学校、寺尾中学校、国府南小学校

- ・参加者数 累計 149 名

カ 市内飲食店等との連携イベント

(7) ミュシャ×フードコラボ！(スタンプラリー)

- ・実施日 4月3日～6月9日

- ・参加店舗数 市内飲食店 8 店舗

- ・景品配布数 623 枚(ミュシャコースター)

(イ) ミュシャ×キッチンカーコラボ！

- ・実施日 4月3日～6月9日

- ・会場 美術館・文学館ひろば

- ・参加店舗数 市内飲食店延べ 60 店舗

- ・景品配布数 1,000 枚(ミュシャシール)

(ウ) 北斎展×旅展×フードコラボ！(スタンプラリー)

- ・実施日 10月12日～12月8日

- ・参加店舗数 市内飲食店 8 店舗、市有施設 3 施設

- ・景品配布数 122 セット(北斎缶バッジ)

(2) 栃木市立文学館

企画展を2回開催、また、年間を通じて市ゆかりの文学に関する常設展示(随時展示替えあり)を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

ア 開館期間 4月1日(月)～3月31日(月)

イ 講演会等

(7) 「山本有三の交友関係」

- ・実施日 7月21日(日)

- ・会 場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
 - ・講 師 三浦穂高氏（三鷹市山本有三記念館学芸員）
大塚幸一氏（NPO 法人山本有三記念会会長）
 - ・聴講者数 43名
 - (イ) 「山本有三とゲーテ“たったひとり”の根源」
 - ・実 施 日 11 月 10 日（日）
 - ・会 場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
 - ・講 師 糸川万里生氏（慶応義塾大学文学部教授）
 - ・聴講者数 30名
 - (ウ) 美術館×文学館学芸員によるミニトーク 北斎「東海道五十三次」を読み解く！
 - ・実 施 日 11 月 30 日（土）
 - ・会 場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
 - ・講 師 栃木市立美術館学芸員、栃木市立文学館学芸員
 - ・聴講者数 61 名
- ウ イベント等
- (ア) 学芸員によるギャラリートーク
 - ・実 施 日 6 月 23 日（日）、7 月 20 日（土）、8 月 25 日（日）、10 月 26 日（日）、
12 月 14 日（土）、2 月 16 日（日）
 - ・参加者数 34 名
 - (イ) 3館連携コラボスタンプラリー
 - ・実施期間 4 月 27 日（土）～令和 7 年 5 月 11 日（日）
 - ・会 場 三鷹市山本有三記念館（東京都）・山本有三ふるさと記念館（栃木市）・栃木市立文学館
 - (ウ) 親子で楽しむワークショップ「ヨシ紙漉き」
 - ・実 施 日 7 月 28 日（日）
 - ・会 場 栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
 - ・講 師 渡良瀬ヨシ愛好会
 - ・参加者数 14 名
 - (エ) ゲーム「文豪とアルケミスト」タイアップ
 - ・実施期間 9 月 14 日（土）～5 月 11 日（日）
 - ・内 容 3 館スタンプラリー（三鷹市山本有三記念館（東京都）・山本有三ふるさと記念館（栃木市）・栃木市立文学館）
有料入館者ポストカードプレゼント
館内フォトスポット設置（キャラクター等身大パネル設置）
オリジナルグッズの販売（クリアファイル・クリアカードセット）
 - (オ) クリスマスミニコンサート
 - ・実 施 日 12 月 14 日（土）
 - ・出 演 県立栃木女子高等学校コーラス部
 - ・会 場 栃木市立文学館 とちぎサロン
 - ・参加者数 40 名

(カ) 栃木レザー×文学館ワークショップ「レザーでしおりづくり・ペンケースづくり」

- ・実施日 12月15日(日)
- ・会場 栃木市立文学館 とちぎサロン
- ・講師 尾花和哉氏
- ・参加者数 14名

(3) 栃木市立美術館及び文学館のPR

専用ホームページ及びSNS公式アカウント(X、Facebook、Instagram)を運用し、積極的に情報発信を行った。そのほか、FMくらら857や広報とちぎにおいて美術館・文学館の収蔵品と展覧会の紹介を行い、美術館・文学館の活動をアピールした。また、美術館・文学館施設案内リーフレット及び美術館・文学館展覧会スケジュールを作成し配布した。また、「没後80年 清水登之」の開催に合わせ、市ゆかりの作家である清水登之に親しみをもってもらうことを目的として、市内小学校5,6年生の児童に「栃木市ゆかりの作家を知ろう!」を配付した。

2 第1回栃木市立美術館美術品収集専門者会議の開催

美術作品の購入及び寄附等の受入れに当たり専門者会議を開催した。

- ・開催日 2月20日(木)
- ・場所 栃木市立美術館
- ・内容

購入作品 清水登之《婦人像》大正3(1914)年 油彩・ボール紙
清水登之《シアトル市ドライドック》大正3(1914)年 油彩・ボール紙
清水登之《生家》昭和8(1933)年 油彩・板
唐来参和作、喜多川歌麿画『三教色』天明3(1783)年 版本
正木桂長清編、喜多川歌麿・仁義道守画『晴天闘歌集』寛政8(1796)年 版本、2冊
式亭三馬作、喜多川歌麿画『石場妓談辰巳婦言』寛政10(1798)年序刊 版本、4冊
喜多川歌麿《五節句浮世鏡(正月)》文化2(1805)年 間判錦絵
何陋舎ト枝撰、三都榮連催主「五側判者披露狂歌合」(仮)嘉永3(1850)年 墨摺

受贈作品 清水登之《警視庁遠望図》昭和15(1940)年 油彩・カンヴァス
清水登之《廬山隘口街附近戦闘図》昭和16(1941)年頃 油彩・カンヴァス
清水登之《大麻収穫》昭和5(1930)年頃 不透明水彩・紙
清水登之《男性裸体習作》大正6(1917)～大正8(1919)年頃 木炭・紙
清水登之《清水登之関連資料》昭和12(1937)～昭和17(1942)年頃

水彩、素描等51点

南摩朱鳥《岩舟の窯業》昭和19(1944)年頃 紙本着色

清水保男《とちのき》1960年代 紙本着色